

2012年3月28日

東急不動産株式会社

「東急プラザ 表参道原宿」屋上に^{けやき}榎の高木を配し、都市に森を創出 ～屋上テラス「おもはらの森」をバードピアに登録、生物多様性に配慮。 環境配慮型の商業施設で都市と自然をつなぐ～

東急不動産株式会社(本社:東京都渋谷区、社長:金指潔)は2012年4月18日開業の「東急プラザ 表参道原宿」の屋上テラス「おもはらの森」に榎(けやき)や桂(かつら)などの高木を配した大規模な屋上緑化を計画し、表参道・原宿エリアの中心に森を創出いたします。

また、同施設を日本鳥類保護連盟主催の「バードピア」に登録いたしました。「おもはらの森」を通して明治神宮や周辺の榎並木とグリーンネットワークを形成し、鳥など生物多様性に富んだ街づくりで都市と自然とをつなぎます。

当施設の屋上テラス「おもはらの森」では、鳥の水飲み場を設置するなど、生物にも棲みよい環境づくりに取り組みました。施設開業に先立ち、この度は施設近隣の神宮前小学校のご協力を頂いて同小学校の児童が鳥の巣箱をつくり、「おもはらの森」に設置いたします。巣箱は日本鳥類保護連盟 柳沢理事監修のもと、明治神宮など周辺に生息する鳥類(シジュウカラ、スズメ等)の生態に合わせたものとしています。神宮前小学校にも同様に巣箱を設置し、地域をつないだ生物多様性保全に取り組めます。

バードピアとは、野鳥(バード)と楽園、理想郷(ユートピア)を組み合わせた造語で、野鳥をはじめとする身近な生き物の楽園という意味です。鳥をはじめとする身近な生き物に適した生息環境を増やし、身近な生き物とのふれあいを通して、人と生き物が共に暮らすことの大切さを実感することを目的としています。

(日本鳥類保護連盟ホームページ参照 <http://www.jspb.org/birdpia/birdpia.html>)



そのほか「東急プラザ 表参道原宿」では、東急不動産グループ「環境ビジョン」の理念のもと、生物多様性保全を含めた5つの環境課題の解決に取り組んでいます。(詳細次ページ)

東急不動産株式会社は、今後も幅広い事業の中で、様々な方々と協働しながら環境取り組みを推進して参ります。

「東急プラザ 表参道原宿」における環境取り組み

東急不動産グループでは、2011年に「環境ビジョン」を発表し、事業を通して、3つの視点で5つの環境課題に取り組むと定めています。

「東急プラザ 表参道原宿」においても、「環境ビジョン」の理念もと、①CO2削減、②生物多様性保全、③水資源保全、④省資源、⑤健康配慮の5つの環境課題に取り組んでいます。

また、同施設では、お客さまと一緒に環境保全に取り組む「緑をつなぐ」プロジェクトを実施、メルマガ会員に参加いただくと1年間1㎡の森が守られます。



都市と自然をつなぐ。
ひとと未来をつなぐ。

5つの環境課題

①CO2削減(自然採光)

- ・風力発電、トップライトによる自然エネルギー採用
- ・省エネ設備(LED照明・人感センサー・室外機散水対応等)
- ・屋上緑化によるヒートアイランド現象の緩和



②生物多様性保全

- ・生物が集う仕掛け(鳥の水のみ場、巣箱設置)
- ・周辺の緑をつなぐエコロジカルネットワーク形成



③水資源保全

- ・節水設備
(節水型トイレ・節水型蛇口)



④省資源

- ・リサイクル材採用
(再生木ウッドデッキ・サイクル材カーペット)



⑤健康配慮

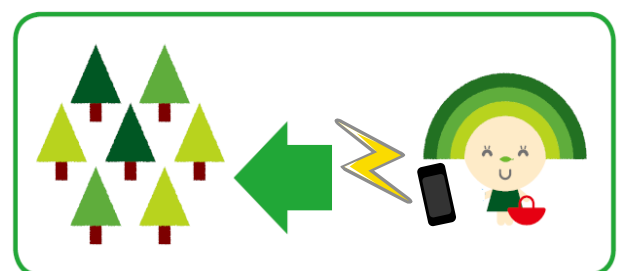
- ・有害物質低減(VOC低減建材採用)
- ・屋上緑化による心理的癒し効果、大気の浄化作用(粉塵の吸着等)



「緑をつなぐ」プロジェクト

「緑をつなぐ」プロジェクトとは、東急不動産グループが、お客さまとのさまざまな接点に応じて森林保全活動を支援するという取り組みです。マンションのご購入や、リゾート施設ご利用、オフィスビルご入居など、お客さまのご利用に応じて森林保全活動支援に参加する仕組みです。

「東急プラザ 表参道原宿」では、メルマガ会員に参加いただくと1年間1㎡の森が守られます。



メルマガ会員おひとりあたり1㎡の森を守ります

<参考>

東急不動産グループ「環境ビジョン」

ホームページ

<http://www.tokyu-land.co.jp/csr/special/philosophy/index.html#vision>

東急不動産では地球環境保全を重要な経営課題と位置付けており、1998年に定めた環境基本理念のもと、住宅事業による環境配慮活動「BRANZ GREEN PROJECT」、環境と都市機能を調和させた「二子玉川ライズ」、生物多様性保全に配慮したリゾート施設の「パラオ・パンフィック・リゾート」など、各事業で幅広く環境保全に取り組んでまいりました。

環境基本理念制定後13年を経ていることから、社会の変化にあわせた見直し改訂を行い、一層推進する目的で、東急不動産グループ「環境ビジョン」を2011年7月に発表しました。また、「環境ビジョン」の制定に合わせ、多くのステークホルダーの方にご理解いただけるように、環境メッセージとロゴマークを策定いたしました。

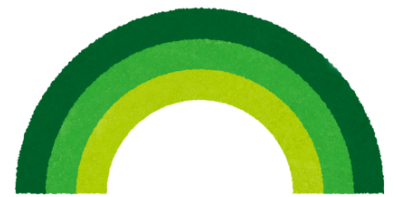
●環境メッセージ「都市と自然をつなぐ。ひとと未来をつなぐ。」

都市と自然をつなぐ。… 事業を通して都市と自然をつないできた取り組み

ひとと未来をつなぐ。… 過去を受け継ぎ進化させ、未来の持続可能な社会を実現させるという想い

●ロゴマーク(三層の緑の虹)

環境ビジョンの「理念・方針・行動」の三つが一体となって実現し、「都市と自然」「ひとと未来」「東急不動産グループと社会の皆さま」をつないで環境保全に取り組んでいく様子を表現



都市と自然をつなぐ。
ひとと未来をつなぐ。

東急不動産グループ「緑をつなぐ」プロジェクト

ホームページ

<http://www.tokyu-land.co.jp/csr/special/philosophy/index.html#midori>

「緑をつなぐ」プロジェクトとは、東急不動産グループがお客さまと一緒に、ご利用に応じたさまざまな接点で森林保全活動を支援するという取り組みです。提供資金は一般財団フォレストストック協会を通じて、森林の整備保全に役立てられます。1年間で1,000ヘクタール(東京ドーム約200個分)相当の森林保全への貢献を目指します。

社会の皆さまと
協働して
森を守ります



以上